

◆高齢者の生活導線を点検して転倒事故を防ぎましょう

【国民生活センター見守り新鮮情報より】

【相談事例1】

トイレに行こうと歩いていて、廊下の段差で転倒した。鼻を骨折した上、くも膜下出血と診断され、入院となった。(80歳代 男性)

【相談事例2】

パンを食べようとキッチンへいったところ、トースターのコードに引っかかって転倒。キッチンで額を打ち出血したため、病院に搬送された(80歳代 男性)

【国民生活センターからのひとこと助言】

高齢者は加齢等による身体機能の低下により、自宅のような慣れ親しんだ場所でも事故に遭うリスクがあります。高齢者の心身の変化に合わせて、家族などが家庭内の環境を再確認しましょう。

段差や電源コード、暗い場所など転倒の原因となりそうなものを減らしたり、家電製品の配置に気をつけたりするなど、高齢者の生活動線を点検することが大切です。

定期的に電話をかけたり訪問したりするなど、家族や周囲の人が高齢者とコミュニケーションを取り、様子を見守りましょう。

くわしくは、[国民生活センターホームページ「見守り新鮮情報」のページ](http://www.kokusen.go.jp/mimamori/mi_mailmag/mi-shinsen293.html)をご覧ください。

(リンク先：http://www.kokusen.go.jp/mimamori/mi_mailmag/mi-shinsen293.html)



◆大阪市消費者センター(相談は大阪市内にお住まいの方に限ります)



●消費生活相談専用電話：6614-0999

※消費者ホットライン「局番なし188(イヤヤ!）」でも繋がります

大阪市内にお住まいの方に限ります。毎日10時～17時、12/29～1/3を除く



メインキャラクター
エルちゃん